

三朝国際シンポジウム第2回ご案内

三朝国際シンポジウム (MISASA V) “Comprehensive Exploration of the Solar system “ (平成 27 年 3 月 6～8 日)に関するご案内 (第 2 回) をさせていただきます。MISASA V では地球、惑星、宇宙に関連する最先端の研究成果を参加者の皆さんが共有する機会を提供いたします。とりわけ、総合的地球化学分析によるチェリャビンスク隕石の最新の研究成果を基に、来る「はやぶさ 2」、「OSIRIS-Rex」そして「MARS2020」ミッションによって地球に持ち帰られる試料の総合解析を視野に入れた議論を深めたいと考えています。先進的な物質解析と、探査による観測と試料回収を連携させることは、小惑星から惑星に至る一連の物質進化の物理化学的理解に向け、これから益々その重要性が増すことは間違いありません。そして多様な科学的視点を統合し、月、火星そしてその他の太陽系天体をターゲットとした探査計画の立案・実現に向けた取り組みの起点となることは、本シンポジウムの重要な目的の一つです。そのため本シンポジウムにおいては、

惑星および小天体に関する科学研究から見た最新の太陽系の描像
小惑星と彗星の物質科学的関連性とその進化
アストロバイオロジーの開拓
太陽系探査ミッションと将来計画
回収試料や隕石、そして関連する情報のアーカイブ

等を主要なテーマとして議論を交わしたいと考えています。

参加登録はオンライン (下記アドレス) にて受け付けております。受付締め切りは平成 27 年 ~~1 月 30 日~~ **2 月 15 日** (延長しました) を予定しております。参加者の皆様におかれましては、お早目のご登録をお願いいたします。参加登録後、引き続き講演要旨のオンライン投稿をお願いしております。ご投稿いただいた講演要旨はとりまとめ、シンポジウムにて配布させていただきます。シンポジウムに関する最新の情報につきましては、本シンポジウムのウェブページをご参照ください。 (http://sympo.misasa.okayama-u.ac.jp/misasa_v/)

MISASA V において、幅広い科学のバックボーンを持つ参加者の皆様が一堂に会し議論を深め、地球物質科学研究センターの基盤的研究能力を核とした将来の共同研究や研究構想へと展開することによって太陽系科学の新たな地平を切り拓くことができるならば、それに勝る喜びはありません。

皆様と三朝の地でお会いできることを楽しみにしております。

平成 27 年 1 月 23 日

三朝国際シンポジウム (MISASA V) 実行委員会委員長
岡山大学地球物質科学研究センター・センター長
中村 栄三